



Est.1912

まこと館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



謹賀新年

皆様におかれましては、新春の訪れを心よりお祝い申し上げます。本来ならば日本全国が新春をお祝いする元旦に、石川県能登地方を震源とする大地震が勃発し、地震の揺れによる直接的被害はもとより、これにより発生した津波や火災等々甚大な被害が出ております。また、これに関連して救援物資を輸送しようとしていた海上保安庁の飛行機が羽田空港で日本航空機と衝突し大炎上するという大事故が発生してしまいました。これらの事態に直接遭遇し被害に遭われた方、ご親族が被害に遭われた方、あるいは間接的に困難に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げたいと思います。

今年の干支は辰年で、本来は陽気が大きく動き満ち溢れる年になると言われていますが、一方過去の辰年を見ると、世の中がガラッと変わることが多く、新しいことが目に見える形で次々と起きる年でもあるようです。

昨年は「こども中心の社会の実現」に向けて、国は子供政策の司令塔機能として「こども家庭庁」を内閣府に創設しました。初代小倉特命大臣は、7月に至誠学園の児童養護施設を早々に視察に来られています。子ども達とも熱心に意見交換をされており、強い熱意を感じる事が出来ました。今後のこども政策に期待したいと思っております。

本年は、至誠学舎立川創業112年となります。法人の理念である「まことの心」を大切に、辰年の大きな世の中の変化に対応して行くべく、法人役職員一体になって地域共生を目指して事業を進めてまいります。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様にとって2024年が健康で幸せな年になることを心から祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

(至誠学舎立川 理事長 稲永勝行)

本部事務局だより 問題と課題

あけましておめでとうございます。2023年度も残すところ僅かとなりました。各事業本部・施設では1年間の振り返りと新年度の計画づくりに取り組んでいることでしょうか。

「計画」づくりで大切なことは、「問題」と「課題」の整理です。この仕訳が出来ていないとやりたい事(施策・行事・行動)の羅列になるか、問題と課題の羅列になるかで、Plan→Do→Plan→Doの無限連鎖に入ってしまう前へ進みません。

では「問題と課題」の違いは何でしょうか？それは、組織が目標とする「あるべき姿」と「現状」のギャップが「問題」です。

その問題を解決していくために具体的に取り組むべきことが「課題」です。具体的な例を「目標達成シート」で挙げると、

- ① ありたい姿：痩せて流行りの洋服をカッコよく着こなしたい、
- ② 問題：BMI値が高い／甘いものに目が無い／運動をしていない、
- ③ 課題：如何に消費カロリーを増やす／摂取カロリーを減らす、
- ④ 施策：そのためにジョギング：5キロ週3回、筋トレ：1時間を週2回、摂取カロリーを毎日管理する、とこのように整理して具体化することです。

ありがちなのは、①理想や夢ばかり語る、②問題点ばかり指摘する、③課題が明確になっていない、④やみくもに行動するが長続きしない、このような事のなんと多い事か。

日々の会議においても、問題・課題・施策を整理して議論しないと会議の成果が上がりません。今年こそ、これらを整理してありたい姿を目指して一歩ずつ行動を起こしましょう。大谷翔平は、高校生の時、ドジャースに入団して世界一になるという姿を目標達成シートに書いて今実現しつつあります。あなたの今年の計画は？(法人事務局長 野島忠幸)

事業本部情報

児 童 事 業 本 部

年末に近づきやっと冬らしい寒さがやってきました。寒いのは苦手ですが、少しホッとしたのが正直な気持ちです。夏から秋、秋から冬と季節の変わり目が分からなくなるような気候で、気持ちが落ち着かずにはいました。四季を感じながら生きることは、これほど大切なものだったのかと実感した次第です。

このように異常気象は、止まることを知らず着実に地球の環境を変え人類の存亡に関わる事態を招いています。これは、自然の気まぐれが原因ではなく、確実に人間が、人間社会が引き起こしていることは科学的に証明されています。

今行われている戦争もそうです。行動を起こすその先に何が起こるのかを想像し、私利私欲や怒りの感情を抑え、踏みとどまること、変えることを恐れずに決断することが、国のリーダーはもちろん人類に必要なことだと思っています。

ニュースで北極の氷が解ける様子やガザやウクライナの惨状を見た時に、笑顔で無邪気に遊んでいる大地の家の子どもの顔が浮かび、ざわつく胸を押さえられずにいる今日この頃です。2024年が未来に向けて希望が届けられる年になることを祈っています。

(至誠大地の家 施設長 石田昌久)

保 育 事 業 本 部

「あわてんぼうのサンタクロース♪」この原稿をまとめている時に保育室から子ども達の元気な歌声が、ピアノに合わせ聞こえてきています。子ども達の笑い声、職員との楽しそうな会話にこちらも笑顔になります。今年度は園庭の改修工事があり、人工芝の設置やHPの改訂、アプリで日々の保育の情報を発信する等積極的に行いました。保育園で大切にしている「いきいきとした子どもをめざして」の実現。合わせて1日を通してモンテッソーリ教育を柱とした保育・教育の実践。利用者の方々や地域の方々へお伝えした年でした。しかし、一方通行ではなく受け止め評価して下さる利用者の方々はどうかな？園の自己評価は？その為に第三者評価を今年度受審致しました。結果が出るまでは施設長としてもドキドキするものです。しかし至誠保育園在職中に理事長より「利用者から学ぶ」と教えて頂いていたことをずっと心に刻んでいます。今回の評価を基に次年度の事業計画に反映させ質の向上に繋げていきたいと思えます。(小百合保育園 園長 吉田 直美)

高 齢 事 業 本 部 至 誠 ホ ー ム

今年を象徴する毎年の漢字は「税」でした。至誠ホームもこの「税」のため12月は大変です。(12月22日)まだ年末調整の実務が終わりません。フォーリンスタッフ(外国人介護士)は現在70人在籍しています。今年も人員が増えたかな？そのために作業が多くなったかと思いました。

来日してからの期間が長くなると出身の国にいる家族の配偶者控除など絡んで、対象者に事務局から問い合わせすることが増えています。

普段、顔を見せることが少ない至誠ホームキートスやミンナやオンニ配属の人も呼びだして確認しています。てっきりフォーリンスタッフ関連だけが事務量の増加要因かなと思っていました。

でもそれは、「税改正」で扶養控除などの変更がややこしくてフォーリンスタッフだけでなく全体に影響を及ぼしています。

「税」のことだけでなく、これからも外国の方が日本に増えてくると一緒に暮らしていくさまざまな佇まいを考えていくことが必要でしょう。

(高齢事業本部至誠ホーム 副ホーム長兼事務局長 金井 裕一)



(編集後記) 2024年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。まこと館は1月4日の新年挨拶回りから始まります。皆様の元気なお姿を拝見できることを楽しみにしております。(小)